

平成 19 年度県立広島大学学術講演会

# パンダの死体は よみがえる

モノを掴むためには、人間の親指の様に他の指と対向する指が必要です。なぜパンダが器用に竹を操れるのか？パンダの手首には大きな骨の膨らみがあるので、これが「偽の親指」として働く、パンダは6本指だから器用に竹を握ることが出来るというのが70年来の定説でした。この定説を覆した遠藤先生、何がきっかけで、どんな解析をして新説を唱えられたか？

## 講師 遠藤 秀紀

京都大学霊長類研究所教授



### 略歴

1965年東京都生まれ。東京大学農学部卒業。国立科学博物館を経て、現在京都大学霊長類研究所教授。博士（獣医学）。動物の死体に隠された進化の謎を明らかにする研究に取り組み、「パンダの7本目の指発見」で世界的に高い評価を得る。著書に『パンダの死体はよみがえる』（筑摩書房）、『解剖男』（講談社）、『人体 失敗の進化史』（光文社）など多数。

1 日時 平成19年11月30日（金曜日） 14:40~16:10

2 場所 県立広島大学庄原キャンパス大講義室（2号館1階）

\*本講演会は遠隔講義システムにより次の場所でも受講できます。

県立広島大学広島キャンパス2143教室、三原キャンパス1101教室

3 聴講料 無料

4 申込方法 電話、FAX、メールにてご連絡ください。

\*受講申込に伴う個人情報には本講座以外の目的では使用いたしません。

\*広島キャンパス、三原キャンパスで聴講される方はその旨お知らせください。

5 お問い合わせ 庄原市七塚町562 県立広島大学庄原キャンパス

庄原地域連携センター（Tel&Fax 0824-74-1704）

庄原キャンパス総務課（Tel 0824-74-1000 Fax 0824-74-0191）

E-mail [gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp](mailto:gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp)

